



2012年6月5日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 大野直竹
大阪市北区梅田 3-3-5

■今夏の節電対策 第2弾 大型商業施設の共用部照明をLED照明にしました

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、今夏の電力供給不足への対応と省エネ・低炭素社会の実現を見据え、2012年4月30日、当社にて所有・運営する大型商業施設「イーアス札幌」「イーアスつくば」「フォレオ大津一里山」「りんくうプレジャータウンシークル」の共用部照明をLED照明に交換しました。

大和ハウスグループでは昨年、東北・東京・関西電力管内の夏場の電力不足における節電対策の取り組みとして、事務所・工場で輪番休業を実施し、各施設ではエネルギーモニタリングシステムを導入するとともに、節電効果のある高効率反射板やLED照明を採用、平日の使用最大電力の20%削減^{※1}を目標に掲げ、節電に取り組みました。

商業施設においては、看板・サイン照明の消灯、通路やトイレなど共用部の照明減灯、トイレのハンドドライヤーの停止などの節電に取り組んできました。その結果、当社グループの対象施設で24%のピークカット^{※2}効果がありました。

そしてこのたび、4つの大型商業施設において、基本照度等を見直した上で、館内通路やトイレ、駐車場などの共用部照明の9割（約16,000台）をLED照明に交換しました。これにより4施設全体で消費電力量を約300万kWh削減、CO₂排出量を年間約990t削減することができます。

※1. 関西電力管内は15%削減を目標に掲げ、節電に取り組みました。

※2. ピーク時の電力使用量を減らす取り組みのこと。



LED照明にした外壁照明



LED照明にした館内通路

■今回 LED 照明を導入した施設

名称	所在地	オープン日
イーアス札幌	北海道札幌市白石区	2008年11月
イーアスつくば	茨城県つくば市	2008年10月
フォレオ大津一里山	滋賀県大津市	2008年11月
りんくうプレジャータウンシークル	大阪府泉佐野市	2007年12月



「イーアス札幌」




「イーアスつくば」



「フォレオ大津一里山」



「りんくうプレジャータウンシークル」



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112